



2014/12/14

平成26年度天皇杯皇后杯全日本バレーボール選手権大会

Match Result



試合番号 **213**

A 試合会場レポート

■会場 東京体育館(東京) 試合開始: 15:00 試合時間 1:19
 観客数 2,000 主審: 村上 成司 副審: 山本 晋五

JTサンダーズ

■監督 : ヴコヴィッチ ヴェセリン
 ■コーチ: 徳元 幸人

■第1セット出場メンバー

7 越川	18 レアントロ	20 筧本
2 町野	19 井上	14 八子

()内は交代選手
 ■リベロ: 3 酒井 大祐

得点	セット時間	得点
25	1set(24')	22
25	2set(23')	16
25	3set(26')	18

パナソニックパンサーズ

■監督 : 川村 慎二
 ■コーチ: 真保 綱一郎

■第1セット出場メンバー

2 深津	6 白澤	8 アウグェス
		5 (渡邊)
15 福澤	3 山添	1 清水

()内は交代選手
 ■リベロ: 17 永野 健

75	Total	56
3	セット数	0

■Match Comment

昨日ストレートで勝ち、決勝に駒を進めたパナソニックパンサーズに対し、途中出場の選手も含め全員で勝ちをもぎ取ることができたJTサンダーズの戦い。

パナソニックは昨日同様、司令塔深津が清水、福澤を中心に攻める。それに対し、JTは司令塔を井上に託し、ヴィソット、越川、八子で応戦した。序盤一進一退が続けたが、先に流れを掴んだのはJTであった。JTキャプテン越川が、チーム全体を引っ張りゲームを盛り上げた。その中でも筧本のブロックが要所で決まり、流れを呼び込んだ。パナソニックは、清水が鋭いアタック、白澤のブロックで反撃に出る。しかし、リズムを掴んだJTは、その後も得点を重ね、勝利を手に入れた。

■Coach Comment: ヴコヴィッチ ヴェセリン (JTサンダーズ)

今日の試合は、戦術、技術だけでなく、メンタル的にも強さを見せた。終始、主導権を握ることができ、チームにとっても大きな自信に繋がるタイトルだ。

選手、スタッフだけでなくチームに携わる皆さん、ファンの皆様へおめでとうと言いたい。ありがとうございました。

■Coach Comment: 川村 慎二 (パナソニックパンサーズ)

JTサンダーズのサーブ、ブロックに対応することができず、リズムが取れなかった。また、自チームのミスも多く目立ってしまった。これからリーグ戦もまだまだ続くので、もう一度見直しを行い、気持ちを切り換えて頑張っていきたいと思えます。本日も沢山のご声援ありがとうございました。

■作成者: 柴田 等

※ 本票の著作権は公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。